

なか|べつ 農協だより



第 63 号

昭和54年12月

発行 中標津農業協同組合

編集 組合員相談室

印刷 アート印刷株式会社



組合員討議の地区別こんだん会

昨年までは思いも寄らなかった牛乳の需給調整、生産計画など、今春になって、降ってわいたように出て来たが、受け止める方も実感としては、なかなかよく理解出来なかったのが現実である。

十月二十五日から始まった、仔牛に生乳を飲ませる事業が実施されて以来、現実の問題として、深刻に受け止めざるを得なくなりました。

今年、牛乳の消費拡大等、いろいろの事業を推進しながら何とか切り抜けるだろう。

さて、来年はどうなるのか？はつきりと見通しを言って呉れる人は今のところ誰れもない。

たゞ、言えることは、酪農をめぐる情勢は厳しく楽観を許さないと言うことであろう。

十一月二十一日から地区別懇談会の全日程に出席して意見を聞いたが、多種多様の意見が続出した。

農協、酪対役員による合同会議で最終の意見集約をすることになるが、多様の意見を取り入れた意見集約は玉虫色となり、矛盾の多いものとなるだろう。

現実の問題も勿論大事ではあるが、将来の根室酪農をどうするかと言う広い視点に立った、意見集約こそより大事なことである。

以上のような観点に立つての意見集約は、個々の意見の総てを盛り込むことは困難なのであらかじめ御理解願いたいものである。

理事会の経過

第八回理事会

十一月八日 開催

議案

事業名	徴収方法	徴収時期
自給飼料生産向上対策	事業費に対し	55年3月末
地域農政特別対策	〃	〃
北海道地域農業生産総合振興事業	〃	〃

1、昭和五四年度収支予算統計画、本年度下期経営対策、明年度に向けての対策について

九月末での実績から年度後半の見込みを出し、審議を行なった。

下期の経営対策についても、一般経費の節減に努めることにより、また業務計画の推進を行なう。

明年度の対策についても、今後十分協議をしていく。

2、固定資産の取得について

(1) 依橋家畜センター、D型畜舎
改修工事外

(2) 澱粉工場施設の屋根ふき替工事

3、補助事業にかかる事務手数料の徴収について

次の事業については、事務処理上、極めて手数料を要するものであり、本年度より事務手数料を徴収することになった。

4、役員報酬審議会設定について
九名で構成し、任期は農協役員
の任期とする。

5、昭和五四年度産澱粉の生産物金融貸付金について

(1) 共計品、25kg 一袋当り
三、二、〇〇円
一般品 〃 三、〇〇〇円

(2) 貸付金利率、年八%（ただし
今後の金融金利状況によって
変更することがある）

6、貸付金利の改定について

本年度はすでに三回の公定歩合が引き上げされており、組合
自己資金の貸付金利率を改定す
る。

●クミカン貸越額

年利 八%を八・五%に

●証書貸付金
年利 八・五%を九%に
それぞれ改定し、五五年一月
一日から実施する。（ただし、

金利状況によって今後変更することがある）

7、倉庫敷地借用地の一部を地主への返還と、これにともなう倉庫の撤去について

8、農協制度による農機具貸付金と、ホクレン農機具延払の対象者の協議について

9、中標津農業高等学校創立三十周年記念事業施設整備の指定寄付について

10、中標津農協畜産センター牧野及び施設管理規程について

以上の議案が審議され決定した。

協議事項

1、中標津町森林組合用地処分について

2、酪農総合対策確立運動の意見集約方法について

3、酪農振興対策費の処理方法について

報告事項

1、店舗開店の売上状況について

2、九月末事業進捗状況について

3、根室農業賞について

4、全道農協大会について

5、澱粉工場操業集荷状況について

6、一日皆貯金推進の結果について

7、生活店舗と事務所追加工事と、業者との協議について

8、九月末基準・自治監査の報告について

9、北酪連の清算結了にともなう処理方法について

10、五三年産澱粉の共計精算完了について

交通安全

メモ



家族ぐるみによる飲酒運転、無理な追越し、過積載過労運転など、無謀運転の防止をなくしましょう。

重点事項

- ・歩行者及び自転車利用者、特に子供と老人の交通事故の防止
- ・スピード・ダウン運転励行の徹底。
- ・安全運転の確保とシートベルト着用の推進

以上の事項を十分注意し事故のないようにしましょう。

アメリカ・カナダにおける酪農・人工授精の研修視察に参加して(1)

人工授精課 出水田 富夫

今回北海道畜人工授精師協会主催の、先進国、アメリカ・カナダにおける酪農・人工授精・研修視察に参加の機会を得た。

全道関係者一行四十名の中に、十月二日より十月十五日までの旅程により、現地を研鑽したので、酪農事情、又見て感じたままを述べてみたい。

まず、アメリカ・カナダの酪農事情について

アメリカの酪農地帯、特に乳牛頭数の多い地域は、五大湖周辺、ミシシッピ河流域、又西海岸、南部テキサス州等で、全米の飼育頭数の大半を占めている。

酪農家戸数は十年位の間に、半数以下と大幅に減少しているとのことで、これに併せて乳牛の頭数も減少し、二十年前に比べると半数以下と、尚漸減の傾向があると云われている。

だが牛乳の総生産量においては横這い状態で、一頭当りの平均乳量の向上は目覚ましいものがある。この乳牛個体の能力の向上は、

アメリカの誇る乳用群改良検定組合を中心に組織された、乳牛改良事業によるところが、極めて大きいとされています。

アメリカの生産乳量は、茲二十年間ほぼ均衡していることなどから牛乳の需給は安定している。

用途は、飲料・バター・チーズ・練粉乳等多様ですが、消費面からみると、飲料・バターの消費の伸びが鈍り、チーズ・ヨーグルトの漸増の傾向がある。

カナダにおける酪農地帯は、全域に亘っているが、五大湖・セント・ローレンス河流域にかけてのオンタリオとケベックの二つの州が中心になっている。

乳牛頭数も、生乳生産量も、全カナダの大半を占めている。カナダにおいても、アメリカ同様に、酪農家戸数・乳牛頭数も著しく減少している現状です。

しかし生乳生産量は八〇〇万トン前後で、年々変動して、一定する傾向がない様です。用途は、飲料六二%、加工用三

一%、農場の自家利用七〇%「飲用及哺乳」となっている。

生乳生産者はすべて各州のミルク・マーケティングボードを通じて組織化されて、牛乳の生産調整が計られて、飲料向と加工向の生産者に区別・登録されている。

カナダ酪農政策は、酪農経営の完全自給体制を基に、その生産の調和をとることに、出荷牛乳についても年間割当制度が設けられ、その割当限度を超過した分については、反則金。割当限度に満たない分については、次年度の割当量の削減と罰則が課せられ、又国内で消費出来ず、過剰乳製品として輸出される場合でも、その差損金は生産者の乳代の中より負担すると云うきびしい制度がある様です。

カナダの酪農経営は、集約化され、家族労働で営むものと考えから、その経営規模も平均化しており、大資本の介入で規模拡大経営が出来ない仕組みの様です。

アメリカ酪農の政策は、牛乳販

売命令制度によって、乳業者は酪農家から買入れる生乳について、用途別に最低価格を支払うことが義務づけられていて、商品金融会社による加工原料乳価支持のため乳製品の買上げが中心となっている。

アメリカの乳牛群改良事業は、全米の関係機関を網羅し、委員会・協会・普及・大学・農務省等が参加している。

事業のねらいは、(1)経済性の高い母牛の選抜 (2)飼料給与の効率化 (3)飼養管理の改善点の抽出 (4)種雄牛の交配指導等である。

全米には、乳用群改良組合があり、検定の外、牛乳・飼料・繁殖等の記録を年間に総括し、これを州大学が中心となって分析検討して普及組織を通して改善について農家と一緒に又指導している。

更に全米の記録をまとめた成果が、種雄牛の能力評価にかかっている。

乳牛の改良については、種雄牛の理想像、種雄牛別娘牛の成績、体型の格付など、広い視野に立って体型・品質・能力の向上に努めている様です。

カナダの能力検定は、連邦政府農務省が監督し、全加の登録牛のみを対象に実施する検定と、これ

を補って、各州の農務省が主として無登録牛を対象に行う検定がある。

種雄牛の評価には、両検定記録を併用して行っている。

カナダ・ホル協会は、両検定記録を農務省と州から定期的に受取り、血統能力証明書の発行や各種登録制度に利用している。

高、乳牛改良にたずさわる機関と団体は、連邦農務省及び登録協会・協会の連合体がある。大学においても、乳牛の体型及び泌乳記録を全域から集め、集計分析を行って指導している。

以上、概要について簡単に述べましたが、現地の酪農の施策等に取組む姿勢の中で、乳価はkg当り(一ドル二〇〇円換算)飲料向四十三〜四十四円、加工向三十八〜九円位の実状であり、乳牛群の改良と一頭当りの経済効果を高めて、優良種畜の生産と国外に輸出消流を促し、酪農経営と経済の確保に努めているやに思えた。

これ等について我々も大いに見習うべき点、又考え改めたい点等問題は蓄積していると思うが、組織の上に立ち努力し対応する姿勢が必要ではないか。

「生乳需給調整 対策事業」の背景

畜産課

酪農にとつては、生乳の需給調整は、それぞれ降ってわいた災難であるが、この生乳需給調整に次の背景があります。

五四年三月二十八日に都道府県指定団体長会議が開催され、「緊急生乳需給調整（計画生産）対策について」決議され、計画生産の方針を決定しました。その趣旨は「長期的視点に立つて、わが国酪農の安定、発展を図るため、国内産生乳、乳製品の優先供給を原則とする需給計画の策定並びにこれに基づき、輸入乳製品の抑制を図る酪農基本政策の樹立を政府に強く要請するとともに、当面する国内生乳生産、乳製品の需給事情に対応し、次の緊急生乳需給調整対策を実施するとなっております。さらに計画生産目標の達成方法として①粗飼料給与の増大と配合飼料の削減を図る ②経営改善のため低能率牛の肉用化を推進する。③季節別必要な変化に対応し、季節別支払い乳価の設定など必要な措置を講ずる ④哺育期間における全乳給与の実施を計画的に進める ⑤そのほか、この対策を円滑に進めるための必要な措置を講ずる。の五点を掲げており、また

これに必要な資金の積み立てとともに、政府に対しては、需給調整並びに牛乳乳製品消費拡大対策強化の緊急要請として、①飲用牛乳の消費促進に対する大幅助成 ②国内産乳製品（ナチュラルチーズ・ヨーグルトなど）の消費促進に対する大幅助成 ③国内ナチュラルチーズ（ソフトチーズ類）に関する技術開発、普及並びに工場設置へ助成、出資 ④生乳需給調整施設設置に対する出資 となっております。三月二十八日の指定団体長会議の方針に基づき、生乳需給調整対策委員会において具体的な計画生産について慎重な審議が繰り返され、その結果、四月二〇日開催された指定団体長会議において「緊急生乳需給調整（計画生産）対策の具体的実施策について」が決定し、その中で全国の計画生産目標と都道府県指定団体別計画生産目標が設定されました。昭和五十四年度全国の加工原料乳限度数量は一九三万トン（前年度一八三万トン）前年比一〇万トン増の五、四六％の増加にとどまっております、北海道の配分は一、五三三、八二一トンであり昨年の認定実績一、五五九、〇〇〇トンに比較す

ると二三、〇〇〇トン下廻っており前年の当初割当数量一、四九三、〇〇〇トンに比べると四二、八〇〇トンの増枠になっております。北海道は第三次酪近計画に沿った生産体制ができあがり、しかも大きな先行投資をすませた特殊事情では二・六九％増ではとても対応しきれぬものでなく、指定団体のホクレンが組合員から積み上げた受託計画乳量一九七万一〇〇〇トン前年度比六・〇％の線を固守しようとしているが農林水産省が決めた今年度の加工原料乳限度数量配分一、五三五、八二一トンを差引き四三三、四〇〇トンを飲用向けとして処理しなければなりません。このうち道内、道外及学校給食その他で三〇一、三〇〇トンの実績があり、四三五、〇〇〇トンから三〇一、三〇〇トンを差引いた一三四、一〇〇トンを新たに飲用向けにだけとて拡販しなければならぬわけですから、「生産を抑制せずに潜在需要の掘りおこしで、需給調整を乗り切る」という独自の判断から当面六・〇％までの生産伸びを許容し、生産者は生乳一kg当り一円のきよ出をして積極的な消費拡大運動の効果で飲用乳の伸び率となつてあらわれて来たが夏の天候不順でアイスクリーム類が鈍化し、全道の九月末生乳生産量は前年同期七・〇六％（根室管内四・四七％増）上廻る状況で昭和五十四年度ホクレン受託乳量が四四、〇〇〇トンの余乳が生ずる

と予想されます。今年度の乳価運動の際に決定された生乳需給調整対策費三三億は前年度の乳質改善奨励金（kg一円七五銭）に見合うものであり、①消費拡大対策一億円 ②生乳計画生産対策二億円に区分されて配分されました。

農協名	対象乳量(A) 53.4~54.3	総数	受託農家戸数	全乳哺育育成促進		肉用化促進等
				数量	金額	金額
標津町	37,821,292.0	24,280	240	617	18,360	5,920
中標津	45,866,720.0	29,460	316	743	22,290	7,170
計根別	46,770,583.0	30,020	274	757	22,710	7,310
西春別	47,049,922.0	30,220	325	762	22,860	7,360
上春別	30,913,897.0	19,840	163	500	15,000	4,840
別海	77,682,726.0	49,860	423	1,257	37,710	12,150
根釧PF中春別	53,664,963.0	34,480	284	869	26,070	8,410
根室	24,283,248.5	15,590	187	393	11,790	3,800
羅白町	1,440,362.0	900	18	23	690	230
計	365,493,708.5	234,670	2,230	5,916	177,480	57,190

※中標津農協は全乳哺育育成促進事業を主体としております 982^t 29,460^円

全乳哺育育成促進事業実績

10月下旬 296戸 40,672.0 kg
11月上旬 307戸 64,381.0 kg

特段のご理解とご協力を賜りたいと存じます。このことがきびしい情勢に対応し全酪農民が生きていける道であり、協同組合本来の精神、かつ協同活動の原点ではないかと思ひます。

地区別貼付額明細

地区	53年度 受託乳量	%	総額	全乳哺育々成		内用化促進等 金額	備考
				数量	金額		
函館	62,255	3.36	39,980	1,008	30,240	9,740	
倶知安	24,824	1.34	15,950	402	12,060	3,890	
苫小牧	63,034	3.4	40,460	1,020	30,600	9,860	
札幌	14,723	0.8	9,520	240	7,200	2,320	
岩見沢	20,389	1.1	13,090	330	9,900	3,190	
留萌	65,278	3.52	41,890	1,056	31,680	10,210	
旭川	84,385	4.55	54,150	1,365	40,950	13,200	
稚内	142,328	7.68	91,390	2,304	69,120	22,270	
十勝	418,730	22.59	268,820	6,777	203,310	65,510	
北見	281,867	15.21	181,000	4,563	136,890	44,110	
釧路	250,796	13.53	161,010	4,059	121,770	39,240	
中標津	365,494	19.72	234,670	5,916	177,480	57,190	
ラクレン	17,529	0.95	11,300	285	8,550	2,750	
チクレン	41,720	2.25	26,770	675	20,250	6,520	
合計	1,853,352	100.00	1,190,000	30,000	900,000	290,000	

獣医師から一言

「ミネラル」

雪印中標津工場 芳野 誠

牛が健康で能力を十分に發揮し、しかも一年一産を実現することが「もうかる酪農」への道となりま

す。そのために、まず「えさ」が大事になります。そのえさの量や中味、与え方の上手下手が、酪農家の運命を左右することにもなり

ます。今月から「えさ」について書いてみます。蛋白やカロリーの

●カルシウムCa
総ミネラル量の約70%を占める

もので、リンPと結合して骨格や歯を形成し、血液にあっては血液の凝固作用をし、筋肉中で筋肉の収縮を促します。

これが不足しますと、飲食欲の減退・異嗜・体重の減少・乳量の減少・起立困難・骨折し易い・繁殖能力の低下・発育不良・死産・下痢・二等乳などの症状を起こします。

●リンP
骨格や筋肉・脳・肝臓・血液などに多く含まれており、生命活動に重要な働きをするものです。

リンが欠乏すると、飲食欲の減退・異嗜を起こし体重や乳量が減少してきます。又、カルシウムと同じく運動機関の障害・起立困難・骨折、更に繁殖障害の要因になってきます。

●マグネシウム

カルシウムと共に骨に含まれ、又、リンと共に液体中にも含まれます。これはカルシウム・リンと同じ様に、土壌管理や飼養管理の中で特に気をつけていきたいものです。マグネシウムが欠乏してくると食欲や乳量が減退し、運動失調を起こし筋肉のケイレンなどの異常がでてきます。

●カリK

血球やその他の細胞の成分として、又筋肉中にも多く含まれてお

り、乳牛の成長・繁殖に大きく関係してきます。

●食塩

体液中に含まれていて、血液・組織液を安定化し、消化液のアルカリ性を保っています。

欠乏してくると飲食欲が減退し異嗜と云って善段では食べないもの、例えば土や金物などを含んでなめたりするようになります。又子牛、若牛の発育が不良になってきます。

●イオウS

乳牛の消化にとって大事な胃のバクテリアの働きに関係するものです。

これら主要ミネラルの含量は土壌・施肥・草地の新旧・刈り取り時期・豆科混生割合などによってちがいますが、根室管内の粗飼料では、リンは全体の70%が不足しております。これはリン酸吸収係数の高い厚周系火山灰の土質であることが大きく影響しています。

又、ナトリウムもほとんど足りないと云う結果がでており、リン分と食塩の補給が是非必要ということになります。

マグネシウムは、結構含まれていますが、乳牛の飼料のマグネシウムの利用率が高いと云うことや、管内で低マグネシウム血症が発生していることから考

えると十分とは云えませんが、これらのことから石灰・ヨーリン・苦土などの散布には充分気を付けたいと思います。

このように述べた通りCaやPなどの成分は極めて重要ですが、乳牛がその生命を維持するためにはその他にも多くのミネラムがあります。それは微量ミネラルとい

微量ミネラル
●鉄Fe

血液の赤血球の重要な成分で、ヘモグロビン中に含有され、体内の酸素と炭酸ガス運搬の働きをします。

●銅Ca

微量に存在し鉄と共にヘモグロビンの造成に必要で、血球の造成に関係します。

●コバルトCo

ビタミンBと云う大事なビタミンの合成に必要なものです。悪性の貧血防止に関係します。

これらの他に亜鉛Zn、マンガンMn、ヨウ素I、セレンSe、モリブデンMo、フッ素Fがありいづれも微量ですが、本場に大事なものです。

次号は、ミネラル代謝の障害としてあらわれる具体的な病気について述べてみましょう。

北海道酪農青年と 大阪女性との交流会

11月11日 大阪市で開催

「北海道にお嫁に来ませんか」をキッカチフリーズに大阪の女性との交流会が、標茶町農業委員会の花嫁対策推進協議会と大阪市の協力により大阪市内で開催され、当農協管内より一青年が参加した。この交流会に道内から道東、道北地方の青年三十九名が参加、大阪市が公募した六十二名の女性と円卓を囲んでのなごやかな交流会が行なわれた。

この交流会のキッカケは、四十



交流会風景

八年に別海町に住む大阪出身の酪農家が、大阪市内に花嫁難の窮状を訴えて第一回の集団見合が行なわれ、六組のカップルが誕生。今年で五回目まで二十六のカップルが誕生している。このカップルの中に当農協管内から昨年行なわれた交流会からメダク一組が生まれているため、中標津町農業後継者推進対策協議会でも今後を期待しています。

貸付金

利率の改定

管理部

今年度四月以来、公定歩合が三回も引き上げになり、組合員の営農や生活に必要な資金を、農協が信連から借入れをする場合は一・パーセント引き上げになり、また貯金の利率も四月以降定期的貯金で一・五パーセント引き上げになった。

組合では年度当初に貸付金利率の引き下げを行い、組助と一般証書貸付を〇・五パーセントの引き下げを行って来ましたが、その後

の金利状況の大幅な引き上げにより、止むを得ず組助と一般証書貸付の利率を〇・五パーセント引き上げをし、次のとおり改定を致します。

組助貸付利率
年 八・五パーセント

証書貸付利率
年 九・〇パーセント

実施年月日

昭和五五年一月一日より

昭和四八年より牛乳管理の合理化と乳質改善を目的に全戸バルククーラーの設置、動力電気の導入を図って来ましたが、本年度の酪農三相電気導入により個定出荷者八戸、バルククーラー設置、生乳出荷者全戸バルククーラー化が完了、十一月四日で個定集荷を打ち切りました。

全戸バルク化へ

輸送缶・集送消える



俣落農集電話

一般電話に12月19日

午後2時に切替わります。

今の人 昔の苦勞の 半分くらいでしょ！

新開陽 赤堀英一さん



物(エン麦、そば、麦、馬鈴薯)で生計をたてる。牛乳は一升三錢五厘で中標津まで持って行き自分で売る状態だった。

昭和十九年に農業試験場の職員となり、いも、エン麦等の試験をさせられる。この試験は模範的な仕事として赤堀さんがまかされて五年間勤めた。

苦勞話を聞いたら出かせぎをした話をしてくれました。出かせぎは「山」こといってマクラギを作る仕事で釧路まで、開陽から中標津→厚床をのりものがないので12厘の道のりを歩き釧路まで行ったとのこと。

今月は、新開陽の赤堀英一さんを訪問しました。

赤堀さんは静岡県出身で十八才の時両親と共に北海道に来た。

当時美深に入りその後、知人の世話で現在の中標津空港近隣地で豆などの作物をつくりながら営農をはじめた。その後昭和二十四年に現在の開陽に入植、牛二頭と作

最後に今後の酪農経営について聞いてみました。「昔は濃厚飼料も自分でエン麦、トウキビ等を使って作った。又、今では堆肥も十分あるのでこれを効果的に使いい草を作ることでしよう。自分の労力で基礎を作ることが大事ですが今の人達は、私達が苦勞した半分くらいしか経験していないですね」と今後の若人に期待をしているようです。

馬鈴薯談義④

男爵いも

根 浅間和夫 試 農 試

今年の当町のばれいしょについての話題の中心は伯爵ことワセシロにあった。今回はその大先輩の男爵いものルーツについてふれたい。

この品種の原名はアイリッシュ・カブラー(アイルランド系靴直し屋の意)であるため、イギリスが故郷と思われがちであるが、生

れは北アメリカである。花が白く、いもが淡紅色のアイリー・ローズという品種を植えたいも畑の中から、花が淡赤紫で、いもの黄色を男爵いもの原種を発見したのが靴直し屋さんであった日本への導入については諸説がある。二〇年前の文芸春秋に伊達町の伊達男爵がつくり出したものだ——という説を書いた人がいたらしいが、子孫の伊達廉夫(新劇の土方与志の叔父)氏はこれを否定したという。

また、明治四〇年に函館ドック付近に火事があったとき、ノルウェーのラッコ密猟船がドックに入っていて、焼け出された人びとに与えてほしい、といもを寄贈してくれた。そのいもを川田男爵が分け与え、七飯中心に広まった——とする説もある(元七飯村長恒吉与次郎)。

しかし、一般に通用しているのは、川田竜吉男爵がイギリスのカーター・サットン父子商會を通じて入手した、とするものである。

これは本談義①で書いた吉野至徳氏が昭和七年九月川田氏に直接会って聞き、「農業及園芸」八巻一号に発表したもの。

男爵は、十八歳の時、イギリスに渡り、造船技術を学んでから日本郵船の前身の郵便汽船三菱会社

に入社。その後横浜船渠の専務になつて来たが、倒産寸前の函館ドックに来て、明治三九年から四三年まで同社の専務になつて来た。函館に住む前は軽井沢の別荘で西洋野菜を栽培するほど園芸に深い関心を持つ人であり、函館近郊に農場を経営していた。

サットン商會から多数の品種を買っているが、七飯村の成田徳次郎氏が分譲を受けたのは、早生で、いもが大きく、その後同村などに普及した。しかし原名を失念してしまったので、川田男爵より譲り受けたのに因んで男爵いもと呼ぶことにした。

奨励品種に決つたのは、昭和三年で、同じ年に決つたメークインと共に食用として人気がある。メークインよりもでん粉価が高く、粉ふきとしてバターをつけて食べると最高——と全国特に関東で人気がある。全国の栽培は、春作の約四五%を占めています。

しかし、この品種にも欠点がある。疫病というカビに弱く、メークインについて腐敗が多いことや、小さく目が深く肉の中心に空洞ができやすい。これらの欠点を改良しようとして、男爵いもの血を四分の一入れて創つたのがワセシロという肥大の早い品種である。

男爵は、十八歳の時、イギリスに渡り、造船技術を学んでから日本郵船の前身の郵便汽船三菱会社に入社。その後横浜船渠の専務になつて来たが、倒産寸前の函館ドックに来て、明治三九年から四三年まで同社の専務になつて来た。函館に住む前は軽井沢の別荘で西洋野菜を栽培するほど園芸に深い関心を持つ人であり、函館近郊に農場を経営していた。

14頭のEX97点牛

(その2)

北海道家畜改良事業団道東事業所

③♀ ハーバークレスト・ローズ・ミリー (EX 97・3E・1GM)
 一九五五年(昭和30年)十二月二十四日生、繁殖者、ジョン・R・スナデイ(アメリカ・オハイオ州) 現在はポニー・ファーム・アーリンド・チーフ(EX 94・1GM)を抜いて一九七五年、七六年オーナリスト・サイアーズ第一位となったバクラー・アストロナウト(EX 90・1GM)の母として日本にも非常に馴みの深いハーバークレスト・ローズ・ミリー(以下ローズ・ミリーと略す)を紹介し、彼女の母シューブリーム・フエイ・マリリン(EX 91・2E・1GM)は優れた雌牛で、ローズ・ミリーの他にも、宇都宮牧場のハード・サイアードとして使われていた。ハーバークレスト・メイソライナー(九一・五点)♀ハーバークレスト・モリ・レイブン(EX 93)等優秀な息・娘牛を数多く残している。ローズ・ミリーは前記のようにオハイオ州で生まれ、五才の時にバクラー・ファームのオーナーであるデイク・ブルックス氏(ちなみに彼も同州の生まれである)に見い出され、バクラーの牛群に加えられた。ここまでは前回に紹介したミルキー・ウエイと同じ経路を経ているが、その後の活躍は、彼女をはるかにしのぐものがある。

まず、ショーに於いての成績であるが(詳細は別表の通り)成年級オール・アメリカン一回、準成年級オールタイム・オールアメリカンに選出される等、まさに堂々たるものであり、また、彼女の妹であるハーバークレスト・モリレイブン(EX 93)と共に母系群オールタイム・オールアメリカンにも選出されている。体格得点の推移であるが(詳細は別表の通り)彼女は十才七ヶ月でEX 97点に格付けされており、前回のミルキー・ウエイよりも一才早くでの最高得点を得ている。又彼女の娘であるハーバークレスト・メープル・レイブン(EX 94)と彼女自身の体格得点を合計すると一九一点となり母娘組では世界最高得点である。彼女の子孫であるが(詳細は別表の通り)息牛五頭、娘牛三頭を残しており、息牛五頭のうち四頭がEX級、ゴールド・メダル種雄牛、娘牛三頭全てがEX級というようにすばらしい産子成績をあげている。このように、ローズ・ミリーは種雄牛としての持てる力をフルに發揮して、ホルスタイン雌牛のスーパー・スターとして君臨していた。そして彼女がこの世を去った現在に於いても、アストロナウトをはじめとする優秀な息・娘牛を通してアメリカをはじめとする世界各國のホルスタイン改良に大きく貢献しているのです。

- ①ローズ・ミリーの賞歴
 1962年 成年級オール・アメリカン
 1964年 〃
 1965年 〃
 1966年 成年級準オール・アメリカン
 ※成年級オールタイム・オールアメリカンのメンバー
- ②体格得点の推移
 VG-87点 2才0ヶ月
 VG-89点 4才6ヶ月 繁殖者スナデイの牛群にて
 EX-90点 5才11ヶ月

- ③ローズ・ミリーの子孫
 ♀ハーバークレスト・ローズ・ミリー(EX・97・3E・GM)
 ♀バクラー・アストロ・ナウト(EX・GM)
 (Sire ソニマ・オームスピー・セクター)
 ♀バクラー・キャブ・シュール(EX・94・GM)
 (Sire ウィズ・キャブテン)
 ♀バクラー・サイテーション・エム(VG・89・GM)
 (Sire ロザフ・サイテーションール)
 ♀ハーバークレスト・サンシャイン(EX・MP)
 (Sire ルーヴン・バーク・アイテアル)
 ♀バクラー・コンビネーション(EX・90・GM)
 (Sire ジャサル・スカイライナー・ベリナ)

- ♀バクラー・リアフレクション・ミリー(EX・93)
 (Sire ローランド・リアフレクション・ソフリン)
 ♀バクラー・トワイエン・ミリー(EX 90)
 (Sire バクラー・ブーツ・メーカー)
 ♀ハーバークレスト・メープル・レイブン(EX・94・2E)
 (Sire レイブン・バーク・アイテアル)

④ローズ・ミリーの能力

2.8才	319日	2回	M 6.232 kg	F 260 kg	4.16%
3.9才	365日	2回	M 8.148 kg	F 348 kg	4.27%
5.2才	365日	2回	M 10.597 kg	F 437 kg	4.12%
6.4才	365日	2回	M 11.606 kg	F 484 kg	4.17%
8.0才	365日	2回	M 11.316 kg	F 564 kg	4.98%
9.0才	347日	2回	M 11.629 kg	F 4.72 kg	4.06%
12.1才	365日	2回	M 10.841 kg	F 382 kg	3.52%
13.4才	365日	2回	M 8.530 kg	F 333 kg	3.91%
15.5才	365日	2回	M 6.983 kg	F 297 kg	4.25%
生涯能力	4.144日		M 95.296 kg	F 3,965	4.2%



ハーバークレスト ローズ ミリー
 EX-97-GMD
 8才 365日 M11,313kg F563kg 5.0%

昭和54年度 農産課



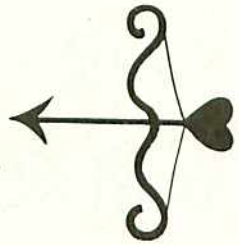
平均収量 ha 当り48.02 t

本年度のビート受入が終了致しました。本年は、春先の天候も不順で今年はずが予想されておりましたが天候も回復し、昨年に近い収量を期待しておりましたが、受入が開始されると同時にha当り五十トンがでて、順調に進んで最終的には次の通りになりました。

- 一、五十四年度作付戸数 52戸
 - 二、五十四年度作付面積 111ha
 - 三、五十四年度最高収量 57t
 - 四、五十四年度ha当り平均収量 48.02t
 - 五、畑専平均収量 9戸 46t
 - 五、五十七t以上 25戸
 - 六、四十五t以上 36戸
- 以上の通り過去に於いて五十五トンが最高であったが、今年は五十五トン以上が七戸も達成し又、平均収量に於いても四十八・〇二トンと記録的な数字が出てまいりましたが、これは天候ばかりでなく一重に耕作者皆様方の御理解と栽培技術の向上及び努力の結果であると思えます。
- 尚、来年度に於いても面積が増加する傾向にあります。早め、作付面積等の計画をし、農産課、ホクレン原料所の方まで御連絡下さる様願います。
- 又、永年草地の更新等には補助事業が導入され、土改資材、牧草種子の導入が助成されます。



新婚さん こんにちわ



古瀬

豊君(二十九才)
優美恵さん(二十二才)

中標津町字豊岡

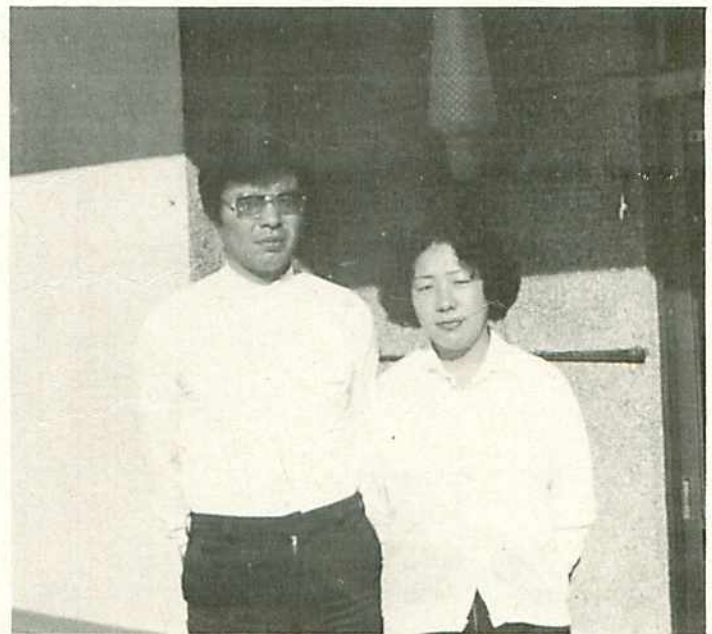
結婚式 昭和五十四年十一月十日

中標津町内 ホテル秀月

媒人 岡田節雄様御夫妻

今月は、新婚ホヤホヤの古瀬君にスポットをあてました。

豊君は、古瀬イセさんの五人姉弟の長男で、中標津農業高校を卒業後、イセさんの片腕となり酪農経営に参画、経営者として現在に至る。豊君が十才のときに父を病



気で亡くし、その後イセさん一人農経営を学ぶ。二人の出合いは、五人の子供を育て、後継者として豊君が北海フードにアルバイトでやってもらいたい豊君の成長に期待をもっていた。

イセさんは「優美恵さんが来てくれたので経営は二人にまかせます」とうれしさをかくしきれない表情で話してくれた。

豊岡青年会長をやり現在は、農事会長をやっている。

優美恵さんは西春別出身で、名古屋に就職し、五十年に家事を手伝うために実家に帰って来て、酪農経営をやりたいと話してくれた。

二人の経営目標は、搾乳牛四〇頭で二〇〇出荷、又、近いうち中程育成舎を建てて安定させ、牧草を主体とした経営をやりたいと話してくれた。

最後に、二人で仲よく力をあわせてお母さんを大事にして下さい。

ビート・パルプの情勢

《購買部》

(1) 全道の作付面積

今年度ビートの作付面積は五八・九〇〇ha前年比一〇一％と発表されて居り作況については北見地方の一部が早魃のため減収が予想されているが昨年の全道収穫量はha当り五〇トン、今年度も昨年より全道的に若干上廻る事が見込まれて居ります。

以上のことから五四年度ビートパルプの生産量は一四六・〇〇〇ト前年比一〇一％(五三年度一四四・〇〇〇ト)程度が予想されます

(2) 道内需要について

昨年・一昨年と価格面で安値安定をしていたため需要が増え、全道的に三〇％前後の伸率を示して居り(当管内は五〇％伸び)今年も道内需要量が前年実績二五・三〇

％増となっております。ビート生産地帯もパルプ需要が増えて居る為消費地帯は一段と厳しくなっております。

したがって生産量が一％伸に対し需要量が二五・三〇％増のため絶対量が不足となり不足分は輸入物で対応する事となっております。

(3) 輸入情勢について

輸出国の生産は世界的砂糖相場の低迷から作付面積は減少しているもののアメリカを中心として、安定確保をするため本年度は五〇万トを上廻る輸入が予想されます。

輸入品は品質の安定したブレントアイブが主流となり更に関東を中心としてバラ配運体制の確立と共に急速な需要の伸びを示しています。

ビートパルプ輸入実績(全国)

S五一年度二九六・九四四ト
S五二年度三四九・四八七ト
S五三年度四二六・四〇〇ト
S五四年度五三〇・〇〇〇ト見込

(4) 価格の動向

輸入品の価格は外国為替市況下ル高傾向並にフレイト運賃等、大巾値上りにより、昨年に対比し高水準になつて居り更に主産国の減産と日本の大巾な需要の伸びにより強含みの状況となつています。

現在輸入物についても年内は不足状態であるため釧路発レール六〇K当三、六〇〇円位の相場となつ

て居ります。以上の状況から道内産パルプについての価格も大巾なる値上りとなつて居ります。本年度の道内産小売予想価格は、六〇Kプロック三、二〇〇円前後二〇Kベレット一、一五〇円前後決定した価格ではありませんが昨年に比し、大巾な値上げとなり又特にプロック物については品不足となり新に注文される方は道産ベレットが輸入品となりますのでご承知願います。

昭和54年度

てん菜・いも・でん粉

価格決まる(10月17日)

	54年産価格	53年産価格	前年比
①てん菜			
最低生産者価格	17,990 円/ト	17,410 円/ト	103.3%
奨励金	1,010	1,060	"
農家手取	19,090	18,470	"
事業団買入価格	235,800	222,600	105.9
作付奨励金	2,300 円/10アール	2,300 円/10アール	0
②馬鈴しょ			
原料基準価格 (60kg)	15,870 円/ト (952円)	15,360 円/ト (922円)	103.3%
③馬鈴しょでん粉			
買入基準価格 (25K/1袋)	128,090 円/ト (3,202円)	123,360 円/ト (3,084円)	103.8%

註) てん菜作付奨励金 2,300/10アールは54年度限り廃止となる、但し衝撃緩和のため名称を変更し交付額を減少し今後3年間価格とは別に交付する。

54年度

農業所得税の 勉強会開催予定について

組合員課

五四年度の農業所得税の申告時期が、やって来るので、今年も税に対する勉強会を開催する予定です。昨年は非常によい結果が得られたので更に勉強を重ね、自分の税金は、自分で計算し納税するこ

とによって、経営内容の検討にもつながり、現在のきびしい酪農状勢を乗り切る一つの手段でもある。日程を組みますので勉強会には、ぜひ参加下さるようお知らせして置きます。

第3回受賞者

中標津農協から鈴木吉三さん(当幌)

《根室管内農業賞》



受賞者 鈴木さん夫妻

第三回根室管内農業賞の表彰式が十一月十九日根室農業会館で行なわれ、中標津農協から鈴木吉三さん(当幌)が選ばれ、表彰状と記念品が贈られ、功績がたたえられた。

鈴木さんは、大正十五年名古屋より十二才で両親と共に当幌三十六線に入植、昭和二十一年現在地に移り今日に至る。

二十六年より十年間地区の有線放送委員長として情報活動の改善に成果をあげたほか、三十七年に

は第一次、四十五年には第二次の構造改善事業代表者として活躍、二次構では全道初のバルククーラー導入が実現した。又地方維持対策として甜菜の導入に取組み酪農経営の安定向上に努めるほか、共済組合の理事(二十二年)酪農振興会長(二十八年)、入植者選考委員(二十三年)など永年の公職も多く、地域のリーダーとして前向きに他の組合員を誘導し地域酪農振興発展のため数多くの貢献をした。

十一月より、事務所正面入口を入って右の奥(元ホクレン原料所)に組合員室を設けました。組合員室は農協へ来られた方々の休憩場所として、また、待ち合せの時に気軽に使っていただきたいのでお知らせします。

十年前前にも組合員室を設けましたが組合員の利用が少なかったためと事務所が狭くなったので、なくなりましたが再び設備しました。ですから多くの組合員が気軽に使ってこられ、皆さんの情報交換や親睦をはかり、また、バスの時間待ちにも使っていただきました。ご意見箱も正面玄関に設置してあったのを組合員室に移しました。

組合員室が できました 企画管理課

告知板



いこいの場所 組合員室

営農技術

北根室地区
農業改良普及所

舎飼期の飼料給与
良質な粗飼料を腹一杯給与しよう

完全な舎飼期に入りました。良質粗飼料の給与で飼料効率を高める工夫をしたいものです。昨年度の中標準農協一四戸の乳検農家飼料給与実態調査より考察しますと表Ⅰ～Ⅱのとおりであり、高泌乳牛になればなる程乾物給与量が不足していることがわかります。現地での具体的飼養管理給与例を紹介すると表Ⅲのとおりです。乳牛飼養の基本は常に乳牛の健康を重視した飼料給与でなければなりません。粗飼料(乾草・サイレージ類)からの乾物摂取量を牛体重の二・三%前後、つまり乳期に応じた採食量を十分に給与すること養分要求量に対しての不足分は配合飼料で充当する。特にミネラルを含んだ牧草の品質・栄養価を高めることが望まれる。以上の事例より考え飼養標準に基づいた冬期舎飼時の一日当乾物及び必要養分量を表Ⅳに示します。飼料給与の

改善は、まず個体乳量、飼料給与量の把握より始まります。一ヶ月に一度は秤量して、乳牛の立場になつて飼養改善に努めて下さい。

I 粗飼料給与量の実態

	現物給与量	乾物給与量
サイレージ	31.3 kg	8.3 kg
乾草	4.82 kg	3.95 kg

II 経産牛乳量水準別乾物給与量及び不足農家数

項目	乳量水準	乾乳牛	低乳牛	中乳量	高乳量
		(10kgクラス)	(10kgクラス)	(20kgクラス)	(30kgクラス)
給与乾物量平均		13.7	16.3	17.6	18.7
理論必要乾物量 (600kg 3.5%)		11.6	14.4	16.2	20.4
不足農業	戸	30	35	41	85
	%	26.3	30.7	36	74.6

III 現地の具体的飼養管理給与例

Aさんの場合(コーンサイレージ主体)

乾乳水準/種類	コーンサイレージ	乾草	パルプ	ショークン	配合	乾物合計給与量
乾乳(妊娠末期)	20kg	10kg	-kg	-kg	2.5kg	16.1kg
10kgクラス	25.2	10	1.1	2.4	5.0	20.6
20	25.2	10	1.1	2.4	7.2	22.5
30	25.2	10	1.1	2.4	7.2	22.5
40	25.2	10	1.1	2.4	7.2	22.5

Bさんの場合(グラスサイレージ主体)

乳量水準/種類	グラスサイレージ	乾草	ウエバー	パルプ	配合	乾物合計給与量
乾乳(妊娠末期)	42kg	2kg	-kg	-kg	1.0kg	17.22kg
10kgクラス	42	2	3.0	2.0	3.0	23.23
20	42	2	3.3	2.7	4.0	24.98
30	42	2	4.0	4.0	6.0	28.46
40	42	2	4.0	4.0	6.0	28.46

[注] ①乾乳牛のサイレージ給与量は若干少なくしている

②乾乳牛に対しての配合及び分娩初期の配合給与は低蛋白の配合を給与している。

IV 1日当乾物及び必要養分量

体重	乳量 (乳脂率3.5% kg/日)	1日当飼料摂取量 (乾物 kg)	必要養分量				
			D	C	P g	T	D N g
620	0 (妊娠末期)	12.0			552		6,960
	10	14.9			790		7,748
	20	16.7			1,236		10,855
	30	21.1			1,751		14,348
	40	22.9			2,198		17,175

※1日あたり飼料摂取量について

※泌乳牛については体重に対する乾物の摂取割合として、乳量10kgの場合2.4%、20kgで2.7%、30kgで3.4%、40kgで3.7%とみなした。

農機具の格納は

もつすみましたか。

「清掃、点検、給油をしてから」

農機具を格納しよう」

一、農機具の投資額は年毎に増加しています。機械は、耐用年数が短いので、毎年の負担額は意外に高い割合を示します。機械を上手に使い、管理を良くすることに よって、負担を軽くする様に努めよう。二、農機具は使わない間も消耗します。機械は、なくてはならない大切な労働手段ですが使われる期間が短く、錆などの腐蝕を防ぐことが保守管理のポイントです。特に冬期間の野外放置は、耐用年数を短くし修理費が多くなります。三、格納する前に点検しよう。(1)モータ、テッターレキ、ヘイベアラ、ピックアップワゴンなどの牧草処理機械の回転軸部に固く固きついている牧草などを取除きます。トラクター、堆肥散布機、ポテトハーベスター、プラオ等耕起栽培用機械に固結している土、汚泥などは、良くかき落とし、水洗いの場合には乾燥させましよう。(2)錆止めのオイルの塗布、モータのセクション、フォレージ

ハーベスターなどのナイフ部分には錆止め用グリスを塗り、チェーンや磨耗部分には麻油等を塗り錆による腐蝕を防ぎます。(3)各部の点検給油、タイヤ圧などをゆるめ、ボルト、ナットなどは締付けナイフ類は取はずして別添保管しグリスアップを行います。タイヤは標準圧力よりやや高めにし、タイヤが直接地面に接触しないように台でうかせておくようにしましょう。(4)トラクター、除雪や飼料給与、糞尿処理など冬期間も利用する機会が多くなりました。冷却水の不凍液交換、バッテリーの充電、管理、燃料の加水等特に注意しましょう。野外作業が終り次第、点検保守管理を行い長い冬の間、機械を雪中に放置することのないよう努力しましょう。

生活

室内温度 すこしやす

農村の住宅事情は非常に良くなくなってきました。冬の室内温度を必要以上に暖めすぎているのではないですか。

人間が活動しやすく、効率良い室内温度は20℃、湿度は60%がめやすとされています。必要以上に暖めるのは、エネルギーの無駄使い、体の抵抗力を弱め、健康上好ましくありません。温湿度計を備えて、室内の温度、湿度を手まめに調節しましょう。

また暖房している部屋では、暖まった空気が軽くなって上昇し、冷えた空気が床近くに集まってくるので、部屋の上下では、約10℃位の温度差があります。サーキュレータ等を利用して、上下の空気を循環させることが暖房効果を上げることになります。

住宅の快適温度

部屋別	温度℃
居 間	16~20
寢 室	12~14
老人屋 子供屋	18~22
台 所	15~17
トイレ	18~20

実習生です よろしく



笠井牧場の人達と(右から3人目 溝口さん)

▽ 溝口まみえさん二十七才
▽ 新聞陽 笠井牧場

広島県出身、今春から北海道の牧場で働きたいと考えていたが、世話してくれるところが分らなくなんとなく札幌の北農中央会に連絡をしたところ、中標津農協を紹介してもらい、今まで勤めていたガソリンスタンドをやめ、八月十日より笠井牧場に来ている。

実家では、水田との兼業農家としており、北海道の酪農を知りたいと思っていた。来た当時、日本の学生三人とバイトの人達が多勢いたので仕事をしていて楽しかった。一人帰り二人帰りしている中になんとなくさびしきがありましたが、少し環境、生活、仕事にな

れて来たノと話してくれた。しかし、寒さがまだ本当に分らうですが、家の中にいる時はストーブがあるので暖かく、真冬の外のしばれる寒さがおそろしいです。今の所、来年の八月まではいられるようですノとはりきっている。朝の早いのはわりとくにならず、心配はしていないようです。笠井さんのお父ちゃん、お母ちゃんがとても良くしてくれるので、つい安心感がでて、なんとなくわがままになりそうノと自分で気にしている。

笠井さんの子供達にもつかれお姉ちゃんといわれ元気いっぱいはいりきっている彼女です。

婦人部だより

第19回根室地区
農協婦人部大会終る

・牛肉・今後の生産について

第三分科会（生活健康問題）

(1) 家族全員が健康診断を受けましよう。

(2) 省エネルギー資源枯渇時代における生活の見直しをすすめるため

(3) 農村医療の取り組みについて
(4) 自家生産の利用と生活の見直しについて。

第四分科会（若妻問題）

(1) 婦人部活動に果す若妻の役割について。

分科会が終了全員で夕食を、その合い間に各農協からのアトラクション、歌あり踊りありで楽しんだ。中標津農協からは参加者全員で「中標津音頭」のおどりを披露し多勢の方々の拍手をあびた。又、七日の本大会で安達会長が

第十九回根室地区農協婦人部大会が十一月六、七日、川湯ホテルニュー北一館であり中標津農協から安達部長をはじめ十六名が出席しました。

六日の分科会は四分科会に分かれそれぞれ問題点を出しあい討議された。各分科会の内容次の通り

第一分科会（組織問題）

(1) 農協婦人部は魅力ある部でなければならぬが、その活動するにも人が集まらない。どの様にする事が魅力ある部活動をする事になるのか。

(2) 農協の中の婦人部の位置づけ、婦人は今日まで男性以上の労働をし努力をして来たが、その結果どんな成果があったのでしょうか。農協の中に農村婦人の意見を積極的に取り入れる姿勢があっても良いのではないかと。

第二分科会（農業問題）

(1) 牛乳の生産調整が出された場合どうすべきか。

(2) 日本酪農の今後の見直し（牛乳



アトラクションで中標津音頭を踊る
参加した部員



分科会（若妻部会）

「酪農情勢は誠に厳しく、自から消費拡大を図るためK一円拠出をしたがその成果は期待通りになっていない。政府の示した酪農近代化計画に添って投資をしたが現況生産調整の声があり将来に期待は出来ない今日であるが、協同の力によってこの期を乗り切る生活を

守るため共同購入等を図る用意を
結集しましょう。」との力強いあいさつがあり、前日行なわれた各分科会の報告に基づき全体討議が行なわれた。

最後に申しあわせ事項「根室管内に厚生病院を」を全員一致で採
択し閉会した。

11月の乳質検査成績

中標津農業協同組合

種別	氏名	上旬	中旬	下旬	種別	氏名	上旬	中旬	下旬
バ	山川健三	2	1	1	バ	田代昭	0	2	0
バ	西垣丈夫	2	0	2	バ	山口宏幸	2	2	2
バ	永谷雄平	2	1	2	バ	片岡宅次	2	1	1
バ	麻郷地忠	1	0	2	バ	遠藤直行	0	0	3
バ	小針晴信	2	0	0	バ	星野盛恵	1	2	2
バ	花川秀一	2	0	0	バ	宮脇正治	0	2	2
バ	花川稔	2	0	0	バ	滝本信孝	2	0	0
バ	岡部実	2	2	1	バ	谷村茂夫	2	1	1
バ	佐藤末美	2	0	0	バ	武田三郎	2	1	0
バ	武田勇	2	0	1	バ	横田好一	1	1	2
バ	山田輝男	2	0	1					
バ	丸田良夫	0	2	0					
バ	国見正雪	1	1	2					
バ	斉藤栄七	2	0	0					
バ	伊藤七郎	1	1	2					
バ	大山富雄	2	0	1					
バ	沢口正志	0	2	0					
バ	福島広光	2	1	0					
バ	加茂正毅	1	2	0					
バ	多田俊夫	1	2	2					
バ	小岩正一	0	0	2					
バ	新谷正治	2	-	-					
バ	井口精一	0	0	2					
バ	中条啓一	1	2	1					
バ	奥村保章	2	0	1					
バ	佐藤春行	0	2	0					
バ	湯山稔	2	1	1					
バ	湯山幸男	1	0	2					
バ	西井武	1	0	2					
バ	山本雪信	2	1	1					
バ	塩田専治	0	1	2					
バ	上村弘志	2	1	0					

質のよいミルクを
つくるために
これだけは守りましょう。

6のルール

- 手と乳房を清潔にすること
- 搾乳装置を正しく選び正しく使うこと
- ミルクの適切な冷却と貯蔵
- 搾乳が終るたびに洗浄
- ライナーとミルクチューブの定期交換
- ミルクシステムの定期点検

※ランク3以上に対してペナルティ5円/kgが課せられます。

0	0～100万
1	101～200万
2	201～400万
3	401～700万
4	701～1,000万
5	1,001万～無限

旬別個乳検査成績(ランク別戸数)

ランク別旬	0	1	2	3	4	5	合計
上旬	209	84	23	0	0	0	316
中旬	233	68	11	0	0	0	312
下旬	209	87	15	1	0	0	312
合計	651	239	49	1	0	0	940
合格率	69.3	25.4	5.2	0.1	0	0	100.0

地区別個乳合格率

地区旬	当幌	中標津	俵橋	開陽	武佐	第二俣落	俣落	平均
上旬	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
中旬	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
下旬	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	98.1	100.0	99.7
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	99.4	100.0	99.9

※従来全戸掲載いたしましたが、2ランク以上掲載します。



金融課

一日皆貯金
各賞の抽選
行なわれる

先に実施しました一日皆貯金の実績は皆様のご協力によりまして次の通りになりました。
今年度 一〇六、六六九千円
前年度 七二、一二六千円
増加額 三四、五四三千円
尚、先日の上野会においてご協力いただきました参加者に、金賞・銀賞・銅賞の各賞の抽選が行なわれ次の方々が当選いたしました。
又、賞品は貯金の窓口でお渡し

- しますのでお受けとり下さい。
- ▼金賞 篠永静男、新井正春、土井上千栄子、青山麗子、杉本佳子、高橋真里子、熊倉彦吉、田中知子、乾雅晴、中本栄太郎
- ▼銀賞 阿部よし子、安達比呂子、佐藤衣子、佐々木久吉、赤波江よしえ、中山光代、筒井富男、秋山季子、佐藤ツギ子、横山聖子、飯島精市、新谷富美子、鈴木キク、内山勲、石田和雄、筒井留雪、山田恵美子、坂口養二、西村八重子、永谷芳晴、今井靖清、井口定則、阿部俊勝、土井上フサ子、畑里美、山本とみ子、竹下定子、鈴木由紀子、吉田三枝、青木嶺子、中山安寿、白石ハル、鈴木満子、佐藤まつよ、加茂喜美子、山崎トキエ、横山節子、金子すみ子、富沢保、油谷スミ子、高平美恵子、石橋照雄、吾妻キシノ、渡辺フミ、関ヨシ子、上村フツ、滝場ミチ子、飯島トシエ、国見一男、長谷川良子
- ▼銅賞 青木喜三、相沢陽子、阿部仁志、赤波江一彦、荒政子、赤波江晃、秋山カツヨ、石崎光子、伊藤サダ、井上亮夫、伊藤春正、伊藤フサ子、伊藤勝四郎、白井久良子、牛田貞子、上村恭子、遠藤サト、円谷トヨ、大沼善弘、太田功、大場優子、奥田ハツヨ、大西ハナ江、岡富子、及川咲子、奥村ウメ子、川島孝子、上ヶ島国雄、笠原喜代美、萱岡きみえ、川手素乃、川村清身、川口文江、川崎広征、梶本高子、桑島誠、久保千代子、北村一仁、熊谷正、来栖多美子、国見正則、国見実、国見莊次郎、国光もや、鋏持富子、光野八千代、小崎ちよ子、小林孝子、小林サエ子、小玉のり子、斉藤邦子、酒井清志、佐伯由美子、佐野茂子、斉藤ハジメ、沢井しず江、沢田隆悦、白築出、白築望、甚野八千代、清水良雄、清水イマ、白川恵美子、重松貞子、重松昌子、鷺見トシ子、鷺見頼子、鈴木敏夫、鈴木まさる、滝本勇雄、田代昭、田中達也、高橋寅之助、高藤幸子、高平幸夫、竹村順子、武田道子、千葉光枝、連田穂子、土山フジ子、筒井訓子、富山美智子、富沢マズ子、富田ともえ、中浦キヌ子、中司君子、永谷ハル、中村敏夫、西井ミエ子、西垣洋、西垣多津子、西崎敬子、浜谷二美代、原藤子、半沢利津子、花尻敏江、広瀬定夫、福島信一、婦連協二十周年(吉沢シマ)、藤井美智夫、伏見富子、舟田正義、藤田ハル、古沢愛子、正城ケサヨ、真部愈、水本一三、水本由美子、三友由美子、三島木友治、柳生敏江、八木原美枝子、山田義雄、柳田治郎、山田和枝、横田国雄、横田純子、横田とも江、吉田ミツノ、渡辺善隆

組合員相談課

台風被害の税対策について

今回の台風被害は、予想外に大きく、根室管内は約三億円で内もつともひどかったのは、標津農協区域で二億円である。

災害を受けて災害資金の必要な方々の資金対応については、すでに道へ申請中であるが税の面でも復旧に対する必要経費として、雑損控除の適要を受けられるので、修繕に要した費用等の支払い領収証は、かならず申告時点で、添付して下さるようお知らせいたします。

根室税務署だより

◎貯蓄と税金
わたくしたちは、将来に備えて預金をしたり公社債を買ったりして貯蓄をしています。

この預金や公社債の利子にも所得税がかかりますが、一定の手続(非課税貯蓄申告書の提出など)をとることによって、非課税の扱いを受けることができます。

この場合、預貯金や公社債については一人、元本三〇〇万円まで、国債や地方債で一定の条件(発行日や購入日など)にあてはまるものはさらに一人、元本三〇〇

自作農資金の導入に

ついてお知らせ

固定化負債整理のため、今回道より貸付金の配分がありました。いづれも枠が少ないので該当者を選定の上貸付を行います。

組%貸越の完全精算についてのお願

組%完全精算を目ざして三年目をむかえ、組合員各位の御理解が得られ年毎に良い方向に進んでおります。今年も残すところわずかですので精算については更に努力をお願い申し上げます。

〇万円まで、勤労者財産形成貯蓄については一人、元本五〇〇万円までその利子に税金がかかります。

このほか、住宅貯蓄契約に基づく預貯金の場合には、各年分の所得税額から、最高五万円まで控除を受けることができます。

